令和４年度　自己評報告書

恵愛幼稚園

１．本園の教育目標

体験や経験の過程を大切にし、人に対する思いやりや忍耐等、社会性や豊かな人間性を育てる。友だちと一緒に自発的な遊びが展開できるような環境作りを行い、自分で考えて行動出来る力を育み、リーダーとしての役割を担える様、国際社会に生きる人間教育を目指している。又、興味や関心を持つ事で、学びに向かう力を育みながら小学校教育へスムーズに接続出来る様にする。

２．本年度、重点的に取り組む目標・計画

コロナ禍の為、オンラインｄｄ研修を受け、それを基に園内研修を行い保育の向上に努める。
子ども達が健康、安全に過ごせるよう消毒等、コロナ対策を講じながら保育者が一丸となり保育の充実を図る。園だより、学年だよりで、園での取り組みや子ども達の姿を写真を添えて保護者に知らせ、子ども達の様子を出来るだけ発信して行く。

３．評価項目の達成及び取組状況

評価項目	評価	取組状況
新教育要領を踏まえての保育内容の見直し、再確認	A	職員会議で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解を深め、話し合い、意見を出し合って具体的に保育に取り入れて行く。また、クラスの実態を把握し、子どもの興味や関心に応じた保育内容を考え、指導計画を再構築する。
保育の質の向上の為の園内研修や職員会議の	A	新任研修を含め、研修の回数を増やし、保育に生かせる様、職員会議などで、具体的な内容を共有している。幼児の姿やエピソードを職員間で話合う中で幼児理解が深まっている。又、園長を中心として、保育内容、問題提起等、新教育要領に沿って、話し合い、保育内容の充実を計り、チーム保育を目指している。
子育て支援、未就園児の取り組み	C	心理カウンセラーによる育児相談の日を設ける。又、園側としても心理カウンセラーに助言を受ける等、子どもの理解を深め、保育に役立てている。 未就園児の子どもが幼稚園で英語・体操等楽しめる様「未就園児の集い」の日を設けた。
安全清浄点検、避難訓練、危機管理、安全管理について	B	園内の安全、清浄点検を月２回行う。 危機管理マニュアルに沿って、災害時引受人カードを作成したり、AED の園内研修、非常食の保管、避難訓練を実施している。

評価（A…十分に成果があった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

4．総合的な評価結果

評価	理　　由
A	職員会議を通して、具体的な保育内容の充実に向けて、全職員で意見を出し合い取り組むことで、保育の実践に役立てる事が出来た。また新たな課題が見つけられるようになり、更なる保育の質の向上を図ることができた。コロナ禍での行事の開催に向け、保護者の理解を得ながら、保育者間で様々な案を出し合い、最善の方法で、行う事が出来た。

評価（A…十分に成果があった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

5．取り組むべき課題

	課　　題	具体的な取り組み方法
1	地域との関わり 幼小連携について	中学生の体験学習をうけいれたり、老人施設の慰問、園庭開放等実施しているが、コロナ禍で出来なかった。 就学に向けての前向きな意識を子ども一人ひとりが持てる様に保育内容を工夫して行きたい。小学校の連携を密にし「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接続を図る。
2	情報公開の方法	園だよりで月の予定だけではなく、子ども達の園での様子等も分かり易く伝えられる構成し、子どもの様子等写真載せ、内容を充実させる。 ホームページ、ポスターで見学、未就園児の集い、入園説明会について知らせた。
3	安全管理	不審者情報等、教育委員会や警察からの情報をすぐにメールで知らせているが、更に迅速な対応出来る様、危機管理マニュアルの内容確認を定期的に行う。

6．学校関係者の評価

・園庭が広く、戸外で子ども達が伸び伸びと遊べる。
・園舎が綺麗で清潔感がある。
・幼稚園に通う様になり、しっかり挨拶が出来るようになった。
・自由参観は自由だが子どもの事を考えると仕事があっても行かないといけないと思い負担に思う
・色々な事が経験出来ている。
・通園バスでは到着メールで知らせがきたり、預かり保育、欠席の連絡も携帯アプリ上で出来たりして便利である。
・コロナの影響で宿泊保育はなかったが、それに替わる行事（夕涼み会）をしてもらえてよかった。
・生活発表会（年中、年長）の劇は通年と違い CD による（歌、台詞付）音楽劇だったが、子どもの声が聞こえず残念ではあるものの、ストーリーが分かり易く、今回の劇の形も感動し、よかった。また、人数制限、クラスごとでの開催で、観覧しやすかった。

7．財務状況